

掲載順	作者	歌	エリア
1	片牧 結夢	朝霧に包まれ眠る比叡山千年の祈り今も絶えずに	大津エリア
2	かなやわ	朝早く琵琶湖を隣に走る僕少し涼しい冷氣誘う	琵琶湖
3	中居 和平	淡海(あはふみ)の果てを彩(いろど)る桜花海津の湖(うみ)に色を敷き積む	高島エリア
4	吉田達郎	新たなる「かくれ里」ありトンネルを抜けると錦秋MIHOMUSEUM	甲賀エリア
5	加藤保典	戦より守り抜きたる村人に慈悲でほほえむ渡岸寺観音	湖北エリア
6	青かべ	いざゆかん天守は近し冠木門(かぶきもん)埋めども朽ちず佐和山の石	湖東エリア
7	舞流土	石山を拝みて登り多宝塔身から流れる汗と煩惱	大津エリア
8	西村賢怜	いやされる大きなおなか大きな目皆を見守る信楽たぬき	甲賀エリア
9	石島佑華	運動会走って跳んで最後にはみんなで輪になり江州音頭	その他
10	恵	延暦寺階段脇の銀杏葉ひらり頭に猫のうたたね	大津エリア
11	柴田つばさ	沖つ波かこふ山影なみなみと満つる汀を淡海と言ひけむ	琵琶湖
12	藤田桂子	奥琵琶の桜並木に降りたてば澄める空気に花の精満つ	高島エリア
13	吉田誠	お土産に食べてみたいと君が言い木本町でサラダパン買う	湖北エリア
14	酒井夏子	思い出の学舎後に別れの日琵琶湖一周夢語る友	琵琶湖
15	中島朋子	街道を見知らぬ人とすれ違い挨拶かわす逢坂の関	大津エリア
16	川上 幸夫	鍛冶仕事伊吹仰ぎて励みしか国友鉄砲世に知れ渡る	湖北エリア
17	松浦宣子	風わたる琵琶湖みはらす長命寺八百八の石段の上	東近江エリア
18	七	川端から流るる湧水澄み渡り生水の郷の生命守らふ	高島エリア
19	上田準	からくりとはやし(囃子)ひきつれねりあるくひきやまのさまみごとなけり	大津エリア
20	文音	唐橋は沈む夕日に照り映えて名残りを惜しむ行く夏の刻	大津エリア
21	北条暦	かるた取る高校生の迫力は近江の杜を破りて響く	大津エリア
22	東辻宜大	がちゃこんとがちゃんがちゃんとゆれるぼく硬券もっておうみてつどう	その他
23	中村妃都美	木之本やそぞろ歩きのまちなみは昔のにおい今も息づく	湖北エリア
24	560	君語るメタセコイアに会いたくて踊る心に風心地よく	高島市
25	ヤマメ	君からの言葉を待って比叡山ドライブウェイから眺めた夜景	大津エリア
26	那須 洋子	金色に光る稲穂の田の中をオーミブルーのガチャコンはしる	湖東エリア
27	蔵礼華	草津市は温泉地かと問われればそれは群馬のほうと紹介	湖南エリア
28	そらまめ	車でも行けるが足で登りたい自分に勝てよと太郎坊宮	東近江エリア
29	樋口淳一郎	京阪の窓に切り取る新緑の光り尊し古都の彩り	大津エリア
30	村井由美子	心地よき石坂線の揺れにをりたまには一句授かるかもと	大津エリア
31	栄里	湖西路の湖(うみ)より昇る虹つかまはんはしゃぐ吾子らとソーダ飲む我	琵琶湖
32	コウノスケ	湖西路を行けばマキノはセピア色メタセコイアが韓流語る	高島エリア
33	伊藤 敦	この地から「急がば回れ」生まれてる新たに知るや滋賀のあるある	大津エリア
34	神 洲橋	五箇荘の町の水路の鯉たちは三方良しと上手に泳ぐ	東近江エリア
35	山下 航生	滋賀県を代表しているびわこにはキレイな星がかがやいている	琵琶湖
36	犬童まみ	紫香楽の四季を感じてタヌキたち暑さ寒さも笑顔で過ごす	甲賀エリア
37	井田 寿一	漆黒の湖に漁火揺れて見ゆ刺し網漁の鮎の船らし	琵琶湖
38	天野 周	しぶきあげ走れうみのこ次世代が描く航路に虹よかかれ	琵琶湖
39	画風	白壁の蔵を映して堀割をゆるやかに舟はゆく時をさかのぼり	東近江エリア
40	村田淳子	鈴鹿より恵み含みし伏流水醸され美(うま)し近江の酒よ	その他
41	うま吉	聖地へと西武の跡をたどりつつ成瀬の声がよぎる夏風	大津エリア
42	ヒロッサン	清流に透かして揺れる梅花藻が香る気がした醒ヶ井の川	湖北エリア
43	増田 晶	扇骨を小石に並べ乾かせるあど川の街風はさわやか	高島エリア
44	根本秀行	疏水から雲居につづく三井寺の盛りの桜に身は染まりゆく	大津エリア
45	和泉香代	そびえ立つ巨木の側の釈迦堂で夫婦で誓う永遠の祈りを	大津エリア
46	黙漣	杣の川笹の小舟はくるくると降りて行かん吾もうみのこ	甲賀エリア
47	水口 一夫	谷水をもらい生い立つ「みずかがみ」稲穂は山にこうべを垂れる	その他
48	俊	旅先で白鬚神社立ちよりにて共白髪の君手を取り合いて	高島エリア
49	太陽	旅の空雲平筆に込めし文出す勇気なき風のささめき	高島エリア
50	大森 絢子	「抱きしめてびわこ」のあの日の手のぬくみ今も忘れじ無窮の水面	琵琶湖

掲載順	作者	歌	エリア
51	まなみ	だれとでもつながるネットの海よりも琵琶湖でひとり泳いでいたい	琵琶湖
52	佐藤智美	竹生島弁才天を奉納す浅井の栄華永遠(とわ)に願いて	湖北エリア
53	川井康陽	竹生島渡る船路の空広し巡礼の道今も変わらず	湖北エリア
54	片岡倫太郎	ちはやふる競技かるたの甲子園集いし青春近江神宮	大津エリア
55	ながぶー	ちはやふる聖地巡礼百人の歌人に触れる近江神宮	大津エリア
56	佐藤明子	茶もみする姑の指も染まりけり若葉夏色八十八夜	湖北エリア
57	田中 恭司	都久夫須麻神社を目指しかわらけに願い一言くぐれ鳥居を	湖北エリア
58	師岡秀雄	つゆあけの風と遊ぶや外輪船水面の色もあざやかになり	琵琶湖
59	西秋陽子	連れ合いと歌碑眺めては歩を緩め長い石段立木観音	大津エリア
60	園田 敦子	手鏡の余呉湖携(たずさ)え賤ヶ岳夕映えの湖(うみ)に竹生島浮く	湖北エリア
61	加藤義弘	東西をつなぐ架け橋夢の橋急がば通れ琵琶湖大橋	大津エリア
62	森 典子	豊郷の白亜の校舎先人の大きな心永久(とわ)に忘れじ	湖東エリア
63	しん	夏の夜の音と光を見つめてる君を見つめる琵琶湖花火	琵琶湖
64	なゆ	南郷の鮎手づかみですぶ濡れに炭で塩焼き美味だセンター	大津エリア
65	後藤正樹	西大津バイパスをゆく車窓には朝陽にかがやく琵琶湖ひろがる	琵琶湖
66	くらたか湖春	にほてるや志賀の浦より漕ぎ出づるサップパドルは絵筆のやうに	琵琶湖
67	大山歌胡	信長の足跡たどり駆けてゆくレンタサイクル駿馬のごとく	その他
68	澤井裕子	はしゃぐ子にはやくはやくと手を引かれ唐崎神社のみたらし祭り	大津エリア
69	鶺鴒	母の日の近江上布受け継ぎて夏の爽やかまとう着物よ	湖東エリア
70	岸本栗山	早打ちが衣透かして大宮橋スマホに映る君が面影	大津エリア
71	寺戸譲治	比叡比良余呉竹生島伊吹山三上石山ビワイチの旅	その他
72	田村陽子	ひこにゃんと背比べする本丸前戦なき世の我は歴女	湖東エリア
73	ふるはゆう	ひこにゃんの赤き兜に集いしは井伊のトンボの赤備えかな	湖東エリア
74	伊藤一男	彦根城背にして和服の娘立つスマホ構える母との時間	湖東エリア
75	山探	人もまた時間の澱に醸されり噛めば沁み入る鮎寿司の酸	その他
76	能勢大輔	日の本の最古の茶園ながらえる日吉大社の神に護られ	大津エリア
77	大西菜々穂	火の舞うと土に命を吹き込みて狸も笑う窯のさきがけ	甲賀エリア
78	打浪紘一	百畳の大風呂揚げる勢子の声響く気がする大風呂会館	東近江エリア
79	竹中圭子	ヒロインと観光大使力ギ投げる成瀬もイチオシ船はミシガン	大津エリア
80	脇坂田鶴子	琵琶湖背に余呉湖抱きて賤ヶ岳戦国の世の思ひはるかに	湖北エリア
81	富田 茅采	琵琶湖には大なまずがね居るそうだ出会ってみたいがとても怖い	琵琶湖
82	小宮美也子	風情ある八幡掘りを囲みたる商人屋敷レトロなるかな	東近江エリア
83	川村育久	不滅の灯(ひ)比叡の山を照らしよる世界平和を願い続けし	大津エリア
84	上垣 光翔	放課後にチャリでびわ湖をぐるっとね夕日が水にキラキラしてた	琵琶湖
85	井狩 陽子	孕(ほばら)み穂が八幡山の風受けて送るウェーブは織(きぬがさ)山へ	東近江エリア
86	加藤由比	益荒男の修羅場となりし瀬田の橋天下を制するや壬申の乱	大津エリア
87	アサキタキツネ	真っ二つ琵琶湖が割れて現れる貴教さまのライブ始まる	湖南エリア
88	高田 チヅ	繭躍る鍋に向いし糸取女手繰り寄せたる一本の糸	湖北エリア
89	今林快波	三日月の影も優しき彦根城栄華の時代(とき)を今も夢見む	湖東エリア
90	沖原イヲ	湖の北の桜のフリンジを今から抜ける君と一緒に	高島エリア
91	あさぼらけ	迎えるは巨岩に奇岩摩崖仏金勝アルプス琵琶湖を望む	大津エリア
92	野洲ニャン	野洲川の上を見上げた百足伝説湖国のシンボル三上山かな	湖南エリア
93	山本雄大	弥生の香漂ふ浪漫に夢馳せる緑青(ろくしょう)纏ふ野洲の銅鐸	湖南エリア
94	水野幸紹	夕暮れや飛び出し坊やかかげ伸ばし行くも帰るも守る道端	その他
95	海神 瑠珂	ゆっくりと歩み続けて一周す余呉の湖畔の小(ち)さき旅なり	湖北エリア
96	新海良太	吉永の弘法杉に魅せられて心新たにマンボをくぐる	甲賀エリア
97	森下博史	吾輩は甲賀忍者と申すもの明日くノ一と見合いで御座る	甲賀エリア
98	山本祐史	梓の中指で戦う頭脳戦世界をつなぐ彦根の力口ム	湖東エリア
99	三村哲也	綿向きの神や見守る日野の里氏郷しのび風を今受く	東近江エリア
100	蜘蛛野澄香	割れ岩を東風通りけり三上山登山リュックを擦りつつ進む	湖南エリア